



“初めて話す、中川政七商店のものづくりの裏側”

初のブランドブック『中川政七商店のものづくり ものざね』11月1日発売



1716年創業の奈良の老舗、株式会社中川政七商店（所在地：奈良県奈良市 代表取締役社長 十四代千石 あや）は、同社初の自社出版となる書籍『中川政七商店のものづくり ものざね』を2019年11月1日（金）より、全国の直営店、オンラインショップおよび蔦屋書店の一部店舗にて発売いたします。また本書の発売にあわせ陶器や漆などでつくられた“工芸の特装版”を、11月1日（金）にオープンする日本最大旗艦店「中川政七商店 渋谷店」にて数量限定販売します。

“よいものをつくり続ければ、おのずと道は拓ける。”ものづくりに関わる人の多くは心のどこかで信じています。わたしたちもまた自分たちのものづくりについて語ることに積極的ではありませんでした。しかし、知ることで選ばれ、選ばれることによって残っていく。伝えていくことにも意味があるのではないか。そう考えた末に書籍化の企画は始まりました。

本書は、中川政七商店のものづくりを初めて紐解いたブランドブックです。“もの”の核となる「物実＝ものざね」^{※1}に焦点を当て、デザイナーの制作背景や産地のつくり手との対話、ルーツの分解など、様々な視点で明らかにしていきます。100年後の日本に工芸を残していく、その糸口を手繕りよせるように、読者とともに思考していくことを目指した本です。

^{※1}「ものざね（物実）」…物事の元になるもの。物のたね。

■商品情報

書籍名：『中川政七商店のものづくり ものざね』

発売日：2019年11月1日（金）

※中川政七商店オンラインショップにて10月11日（金）より予約開始

価格：2,500円（税抜）

販売店舗：全国の「中川政七商店」「遊 中川」「日本市」ブランド直営店／

中川政七商店オンラインショップ／「蔦屋書店」一部店舗^{※2}

発行：株式会社中川政七商店

体裁：B5変形判／132ページ



〈プレスリリースへのお問合せ〉

株式会社中川政七商店 広報 佐藤菜摘、須藤 萌恵 080-3464-4622（佐藤） kouhou@yu-nakagawa.co.jp
〒630-8144 奈良県奈良市東九条町1112-1 URL https://nakagawa-masashichi.jp/

様々な視点でのものづくりを紐解く、初のブランドブック

わたしたち中川政七商店は、創業より手仕事によるものづくりを大切にしながら営みを続けてきました。産地で育まれる素材、つくり手の技術や知恵を次代へとつなげたい、ものに込められた想いや姿勢を受け継ぎたい—わたしたちのものづくりは、そんな気持ちを起点にはじまります。本書では、デザイナーの制作背景やつくり手との対話、ルーツの分解など、様々な視点で中川政七商店のものづくりを紐解いていきます。

【目次】

第一章「何を選んで、何を残すか」

ルーツを語る素材“手織り麻”を通して、創業以来大切にしてきた想いを辿る。



第二章「かたちを変えて、受け継がれる技術」

蚊帳は姿を変え、ふきんやストール、バッグへのアップデートによって残していく。

第三章「知恵を引き継ぐ、道具のつくりかた」

数多の先人への尊敬が積み重なって生まれる、暮らしの道具たち。

第四章「素材の声に耳を傾ける」

自然の素材を生かしたものづくりによって知る、数値化できないもののよさとは。

第五章「誰とつくる、どうつくる」

“なくなったら惜しい”“これいいな”という気持ちを起点に、よりよいつくり方を探る。



第六章「産地への誘いとしてのものづくり」

産地で感じた魅力を“もの”に込めて、つくり手と使い手の距離を近づける。

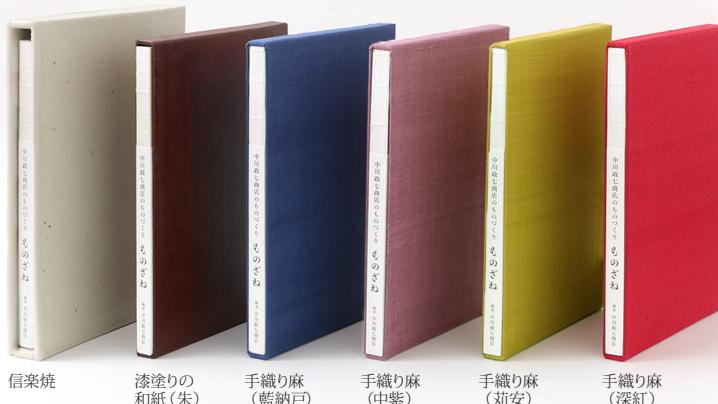
第七章「つくり手たちと紡ぐ、祈りのかたち」

鏡餅飾りや雛飾り…古くから伝わるお飾りは、沢山のつくり手との伴走で生まれる。

特別寄稿：鞍田崇氏「カルティベイトー耕すようにつくる」

水野大二郎氏「適量をつくり、適切に使う社会の実現へ」

手仕事の美を感じる“工芸の特装版”、渋谷店にて数量限定発売



書籍の発売にあわせ、陶器や漆など工芸技術によってつくられた“工芸の特装版”を数量限定発売。本書にも登場する“あられほぞ組”的技術を生かした組み箱をはじめ、陶器、漆、手織り麻が施された、本がぴったり収まるスリーブ型です。職人の手で一点一点仕上げられた特装版は、日本最大旗艦店「中川政七商店 渋谷店」でしか手に入らない特別仕様です。

【商品情報】

特装版『中川政七商店のものづくり ものざね』

組み箱／信楽焼／漆和紙（全2色）／手織り麻（全7色） 値格：¥5,000～（税抜）

※11月1日より「中川政七商店 渋谷店」にて数量限定販売

中川政七商店 (なかがわまさしちょうてん)

1716年（享保元年）に創業し、2016年で300周年を迎えた奈良の老舗。“日本の工芸を元気にする！”というビジョンを掲げ、工芸業界初のSPA（製造小売り）業態を確立。「中川政七商店」「遊 中川」「日本市」などのブランドで、全国に50を超える直営店を展開しています。

